

三重県医師バンク実績

●無料職業紹介事業 求職医師数（平成22年10月～令和3年3月31日）

| | 県内 | 県外 | 計 |
|--------------------|-----------|-----------|------------|
| 成立(常勤) | 2 | 15 | 17 |
| 成立(非常勤) | 9 | 7 | 16 |
| 成立見込み(常勤) | 1 | 0 | 1 |
| 成立見込み(非常勤) | 0 | 0 | 0 |
| 成立合計(見込み含む) | 12 | 22 | 34 |
| 不成立 | 16 | 32 | 48 |
| 情報提供中 | 7 | 16 | 23 |
| 計 | 35 | 70 | 105 |

※うち県内非常勤1名は情報提供による成立

●問い合わせ医師の年齢・勤務希望形態

| | 常勤 | 非常勤 | スポット | 計 |
|----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 25～34歳 | 13 | 7 | 3 | 23 |
| 35～44歳 | 19 | 12 | 3 | 34 |
| 45～54歳 | 18 | 2 | 3 | 23 |
| 55～64歳 | 8 | 7 | 2 | 17 |
| 65歳～ | 5 | 3 | 0 | 8 |
| 不明 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 計 | 63 | 31 | 11 | 105 |

通算

●問い合わせ数

※3年連絡なければ、不成立

| | |
|----------|------------|
| H22年度 | 14 |
| H23年度 | 25 |
| H24年度 | 22 |
| H25年度 | 9 |
| H26年度 | 7 |
| H27年度 | 5 |
| H28年度 | 10 |
| H29年度 | 3 |
| H30年度 | 2 |
| R1年度 | 3 |
| R2年度 | 5 |
| 計 | 105 |

●成立診療科

| | |
|-----------|-----------|
| 外科 | 5 |
| 内科 | 15 |
| 小児科 | 2 |
| 救急 | 1 |
| 泌尿器科 | 1 |
| 産婦人科 | 3 |
| 皮膚科 | 1 |
| 総合診療 | 2 |
| 健診、献血、その他 | 4 |
| 計 | 34 |

令和3年度「女性が働きやすい医療機関」認証制度の予定について

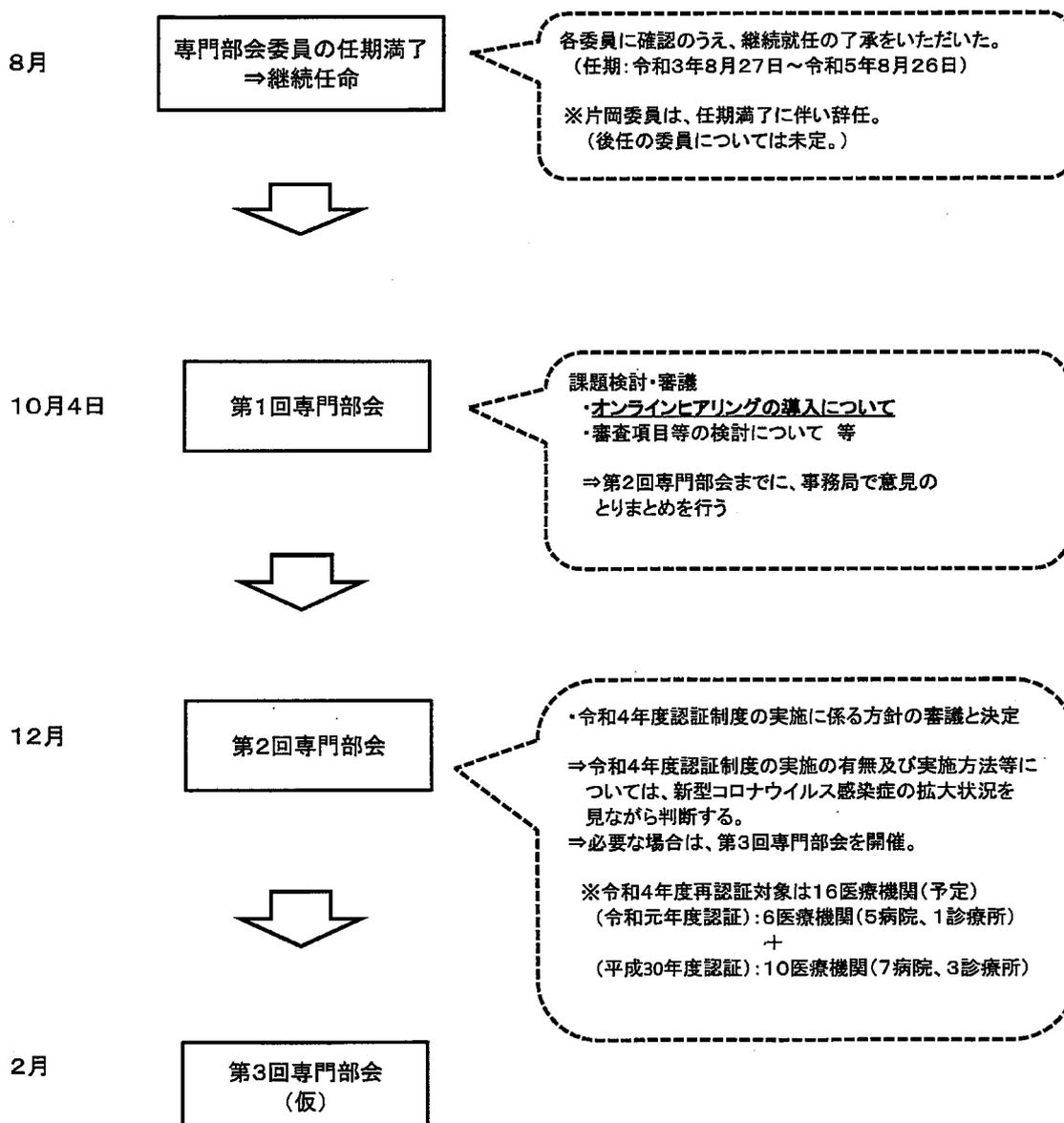
三重県医療介護人材課

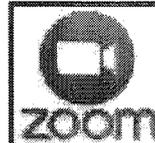
【令和3年度認証制度方針】（令和2年度専門部会で決定）

- ・新型コロナウイルス拡大のため、**新規募集を停止**。
- ・再認証対象（H30年度認証）医療機関については、**特例的に認証期限を1年延長する**。
⇒令和3年7月6日 対象医療機関に通知済

※平成30年度認証医療機関：10医療機関（7病院、3診療所）

【令和3年度 今後のスケジュール】





オンライン・
ハイブリッド



令和2年度 医学生・研修医等をサポートするための会

男女不問！学生・研修医・若手医師なんでも言って委員会！？

今回のテーマ

「新型コロナウイルス 感染拡大の中で、若者が困っているあんなことやこんなこと、大人に助けてほしいこと」



参加者募集中！
メールでお申し込みを

日時：令和2年11月25日（水）午後6時～午後7時30分

場所：三重大学医学部附属病院外来棟5階ホール/ZOOMによるハイブリッド開催

コーディネーター MMC・医学看護学教育センター 櫻井 洋至

18:00～ 挨拶 MMC理事長・三重大学医学部附属病院長 伊佐地 秀司

挨拶 三重県医師会理事・三重大学医学研究科長・医学部長 須藤 啓広

挨拶 三重県医師会長 二井 栄 先生

18:10～ 「なんでも言って委員会!？」の進め方

「Covid-19感染拡大の中での医学教育・学生生活上の課題の整理」 (櫻井)

スモールグループディスカッション (18:20) (各ブレイクアウトルームへ移動)

テーマ1「コロナ禍での医学教育への満足度と要望」

テーマ2「医学・医療人教育のニューノーマルとは」

プレナリー (18:35ごろ) (各グループより発表)

18:50～ 「教員・三重大学OBが考える学生、若手医療人支援のあり方」

(山田玲子 先生)

スモールグループディスカッション (18:55) (各ブレイクアウトルームへ移動)

テーマ3「学生生活(バイト、恋愛)の課題と若者が希望する支援対策」

プレナリー (19:10ごろ) (各グループより発表)

19:25 ふりかえりと提言 三重大学臨床研修キャリア支援部長 近藤 峰生ほか

19:40ごろ 閉会・クロージング 医学・看護学教育センター長 堀 浩樹

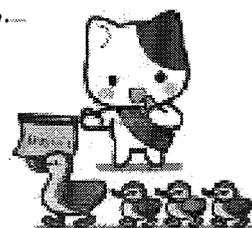
三重県医師会理事 今野 信太郎先生

★ **積極的に意見を出していただける男女医学部生、教職員、大募集！**

学生・研修医さんからの意見は改善提案として、三重県や病院・医学部に報告いたします！

主催：三重県医師会、共催：NPO法人 MMC卒後臨床研修センター 後援：三重大学医学看護学教育センター
臨床研修・キャリア支援部

問い合わせ： hirodon@clin.medic.mie-u.ac.jp (MMC事務局 櫻井)



飲み物・お菓子はご自身でご用意ください

報告

令和2年度医学生・研修医等をサポートするための会

令和2年11月25日（水）午後6時30分より三重大学医学部附属病院外来診療棟5階ホールをメイン会場にハイブリッド形式での開催の運びとなりました。今回は、「男女不問！学生・研修医・若手医師なんでも言って委員会！？～新型コロナウイルス感染拡大の中で、大人に助けてほしいこと」というテーマで開催されました。参加者数は35名（男性24名、女性11名）で内訳は医師18名、医学生12名、その他5名でした。今回は、コロナ感染拡大の中、ZOOM会議を用いて、講演と4つのブレイクアウトルームに分かれてのディスカッションで参加者数が減るのではと危惧致しましたが、特に医学生の参加が主体で活発な意見交換を行って頂きました。MMC理事長・三重大学医学部附属病院長 伊佐地秀司先生、三重県医師会理事・三重大学医学研究科長・医学部長 須藤啓広先生、三重県医師会会長 二井 栄先生より挨拶後、私の司会進行で「Covid-19感染拡大の中での医学教育・学生生活上の課題の整理」を発表後、スモールグループディスカッションでテーマ1「コロナ禍での医学教育への満足度と要望」、テーマ2「医学・医療人教育のニューノーマルとは」で30分ほど自由討論後、各グループのファシリテーターよりまとめを発表。

山田玲子先生より「教員・三重大学OBが考える学生、若手医療人支援の在り方」について、コロナ禍でも研修医や専門医に対して論文の筋道などの手ほどきを熱心にされている様子を述べて頂きました。

再度、スモールグループディスカッションに戻りテーマ3「学生生活（バイト・恋愛）の課題と若者が希望する支援対策」について討論。結果は当初心配していた金銭面で困難を感じている学生が少なくとも今回の参加者にはいないことが判明。一方で、新型コロナウイルス感染拡大後の医学教育活動への影響（臨床実習遅延による学事活動、キャリア支援活動への影響）や学生の間で広がるコロナうつなどの状況について心配する意見が多く語られ、この場に参加していない学生の行動や心理状態が心配との声も寄せられました。オンライン授業については、講師側は学生全体が見渡せるが、学生間同士の顔やコミュニケーションが取れず不満に思っている学生も多いようです。

ふりかえりと提言として、三重大学臨床研修キャリア支援部長 近藤峰生先生より総括を頂戴致しました。

最後に三重県医師会理事 今野信太郎先生から、日本医師会女性医師バンクについての紹介と、女学生の皆様には、ためらいなく育児休暇取得をする方と一緒に、ウィンウィンの関係で医師として家庭人として成長して頂きたいとエールを送られ閉会となりました。

(MMC 卒後臨床研修センター 櫻井洋至 記)

(案)

令和3年度 これからの医師の働き方と男女共同参画を考える

1. 開催日時 令和4年1月20日(木) 午後5時30分～同7時30分頃
2. 開催場所 三重県医師会館 1階 健康教育室(Web併用)
3. 対象者 医療機関院長、開設者・管理者、医局長、研修医、医学生等
4. 講演内容

午後5時30分～午後6時30分 **Webでの講演**

(1) 「多様な医師の働き方を支える」～法律の使える管理者になろう～

(講師) 元日本医師会女性医師支援センター参与
日本登山医学会有志乗鞍豊平診療所管理者

上家 和子 氏

午後6時30分～午後7時30分 **Webでの講演**

(2) 「ジェンダー平等への取り組みが、地域を持続可能にする」

(講師) 内閣府女性に対する暴力に関する専門調査会委員
第5次男女共同参画基本計画策定専門調査会委員
日本産婦人科医会常務理事・富山県議会議員
女性クリニック We! 富山代表・富山県医師会常任理事

種部 恭子 氏

5. 主催 公益社団法人 三重県医師会
- 共催 三重県医療勤務環境改善支援センター
- 後援 公益社団法人 日本医師会(予定)
三重県、一般社団法人 三重県病院協会